

かたばみ

(酒井 忠明 書)

Vol. 86

2021 秋号

発行 社会福祉法人
かたばみ会

発行責任者 事務局長 佐藤 弥生
発行日 令和3年 10月 10日

Contents

- かたばみ会 × 持ち上げない介護
- シリーズ 社会福祉法人かたばみ会の
地域貢献活動 Vol.8



- 事業所トピックス
- デイサービスのおやつ
- 役員紹介

かたばみ荘

〒998-0015
山形県酒田市北千日堂前字松境18番1
【TEL】0234(35)1451
【FAX】0234(35)1452
支援センター直通
【TEL】0234(35)1407

- ・特別養護老人ホーム
- ・ショートステイサービス
- ・デイサービスセンター
- ・在宅介護支援センター

〒998-0061 山形県酒田市光ヶ丘2丁目3-19
【TEL】0234(35)1453
【FAX】0234(35)1454

- ・多機能施設

かたばみの家

〒998-0015
山形県酒田市北千日堂前字松境16番
【TEL】0234(35)1471
【FAX】0234(35)1472

かたばみ会 酒田市 検索



シリーズ

社会福祉法人かたばみ会の

地域貢献活動

Vol.8

令和3年度第1回 松陵いこいの場「福祉の講座」開催しました！



新型コロナウイルス感染症などの影響で、昨年9月からの久しぶりの開催です。

令和3年6月30日、今回は「腰痛と運動」と「骨粗鬆症の食事」というテーマで、当法人の職員、機能訓練指導員、管理栄養士がご説明させていただきました。

高齢になると筋力や骨密度の低下で、腰痛や骨折などが心配されます。今回は、家庭でできる腰痛予防体操を実技を交えたり、骨を丈夫にする食材やレシピをご紹介するなど、家庭でもすぐに役立つ情報を提供させていただきました。

今年度も地域の方々のニーズに合わせた内容を企画していきますのでご参加よろしくお祈いします！



役員紹介

本年度、役員の改選がありましたので、新しい役員をご紹介します。

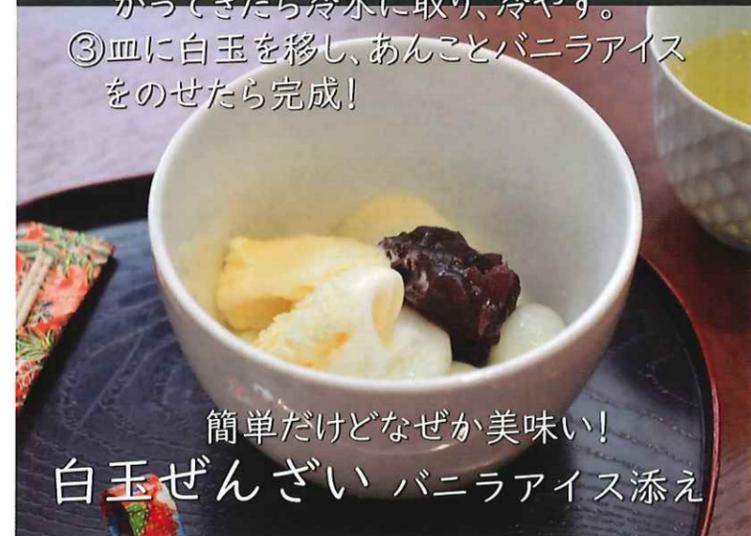
小渡	監事	五安	佐酒	酒酒	池	理	佐	理
山邊		十藤	藤藤	井井	井田	事	藤	事
憲銑		重早	弥見	学朋	武		淳	
樹一		明苗	生吾	久郎			司	

佐藤	阿部	渡部	五十嵐	山岸	新田	斉藤	尾形	清和
智茂	之昭	敦	敬視	文章	純朗	憲吾	キ工	悦子

評議員

デイサービスのおやつ

- ①白玉粉と水を混ぜ、耳たぶ位の硬さになるまでまとめる。
- ②沸騰したお湯に生地を入れ、浮き上がってきたら冷水に取り、冷やす。
- ③皿に白玉を移し、あんこことバニラアイスのをせたら完成！



簡単だけどなぜか美味しい！
白玉ぜんざい バニラアイス添え

後編集

日頃より、当荘のコロナ感染予防対策へのご理解とご協力に感謝申し上げます。今年の夏は「例年のような猛暑」以上に暑かった気がします。猛暑とコロナ第5波の中、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、自国開催ということもあり、テレビの前での応援に力が入ったのではないのでしょうか。少しずつ秋に向けて涼しくなっていくのと同時に1日のコロナ感染者も徐々に減少してきました。先日は、敬老会のお祝いを大ホールで開催し、笑顔と笑い声に包まれた穏やかなひと時を過ごしました。大切な人と、好きな時に会える日常が早く戻るといいですね。

まだまだ
コロナに負けねぞ!

事業所トピックス

デイサービスセンター



天気の良い日は中庭に出て、外の空気を吸いながら歌を歌い、気分転換を図っています。

密を避けて...



前号でご紹介した新アクティビティ。「モルック」!

今回、入所者の皆様にお披露目。かたばみの家独自ルールで楽しんでいます!



養護老人ホーム

多機能施設

～野菜作り～



土おこしからの野菜の苗植え。

トマト・ナス・ゴーヤ、すくすくと育ったもの、



残念ながら枯れてしまったもの、悲喜こもごもの野菜作りとなりました。

特別養護老人ホーム・ショートステイサービス

9月17日 長寿祝賀会開催!



残念ながら、コロナ禍でご家族や来賓の方々はお招きできませんでしたでしたが、施設の中でお祝いできました。



職員から歌のプレゼント



これからもお元気で!



山形県から白寿1名、酒田市から長寿4名、米寿3名の方々の賀詞をいただきました。

梅干しと菊の花おひたし作り



天気の良い日に天日干し。

コロナ禍だからこそ...出来ることは沢山あります。



さすが皆さん手際が良い。

社会福祉法人 かつばみ会 × 持ち上げない介護 ～ノーリフトケア～

足の力が弱く、ベッドと車椅子の間の乗り移りが難しい方でも、座った姿勢のままボード(板)の上を滑るように動かせる福祉用具があります。体重のある大柄な方など、介助される利用者にとっても、介助する職員にとっても負担が少ないのが利点です。

スライディングボード

昨年度より、この「スライディングボード」を導入し、それに適した車椅子(アームサポート・レッグサポートの着脱機能)の台数も増えました。安全な使用のための職員研修を行い、使用する利用者の検討を進めました。9月現在で7名の方の移乗介助に活用しています。



取り組み成功事例のご紹介

最近、座位でボードを使用する移乗方法の良さを実感する事例がありました。足の骨折で入院され、手術後に退院し再入所されたSさん(女性)。起きて車椅子で過ごしてよいが、「足に体重をかけていけない」「肩も骨折していて動かせない」という特殊な状況でした。体重から考えると職員2人で抱えることも可能です。問題は、持ち上げること自体で骨折部位に負荷がかかり、痛みを生じさせてしまうこと。ボードでの新しい移乗方法がなければ、ベッドから離れて過ごす時間が減り、入院前と大きく異なる(寝たきりに近い)生活になっていたかもしれません。

